

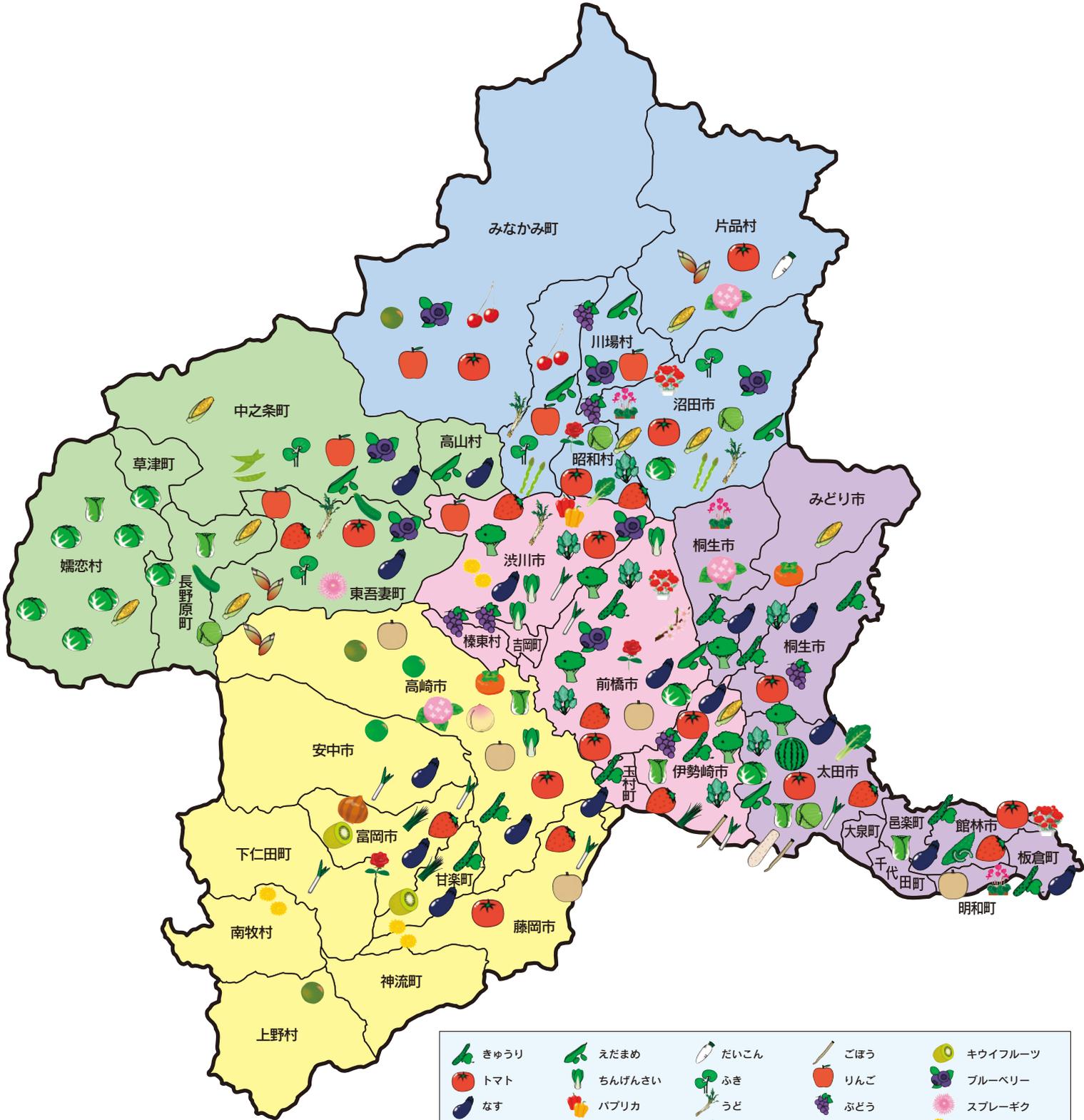


ぐんまの園芸

2023



ぐんまの園芸産地マップ



きゅうり	えだまめ	だいこん	ごぼう	キウイフルーツ
トマト	ちんげんさい	ふき	りんご	ブルーベリー
なす	パプリカ	うど	ぶどう	スプレーギク
いちご	にら	こまつな	日本なし	コギク
キャベツ	たまねぎ	アスパラガス	もも	バラ
ほうれんそう	ズッキーニ	すいか	おうとう	枝物類
レタス	スイートコーン	やまといも	かき	シクラメン
ねぎ	さやいんげん	はくさい	うめ	カーネーション
ブロッコリー	みょうが	にがうり	すもも	アジサイ

地域紹介

～中部地域～

平坦地から中山間地まで標高差のある地形を活かし、きゅうり、トマト、なす、いちごなどの果菜類から、ほうれんそう、ちんげんさい、にらなどの葉菜類まで多品目の生産が行われています。

また、日本なし、りんご、ぶどう、ブルーベリーなどの果物やバラの生産も行われています。

～西部地域～

トマト、いちご、きゅうり、にらなどの施設野菜、なす、たまねぎなどの露地野菜の生産が盛んです。

贈答品として全国的にも有名な下仁田ねぎの産地です。

うめ、日本なし、すもも、キウイフルーツなどの果物の生産も行われています。

～吾妻地域～

夏秋キャベツをはじめ、レタス、はくさいなどの冷涼な気候を活かした高原野菜の生産が盛んです。また、トマト、なす、いちご、特産野菜のみょうが、ふき、うどなどの生産も行われています。

～利根沼田地域～

夏の冷涼な気候を活かして、レタスの大規模栽培や夏秋トマト、雨よけほうれんそうやだいこんの生産が盛んです。また、えだまめ、いちごや特産野菜のアスパラガス、うど、ふきなどの生産も行われています。

りんご、ぶどう、ブルーベリーなどの観光果樹園も多い地域です。

～東部地域～

平坦地を中心に土地の条件を活かした多様な野菜生産が行われています。

きゅうりやトマト、いちご、小玉すいか、なすなどの施設野菜やねぎ、やまといも、ごぼう、はくさい、ほうれんそう、にがうりなどの露地野菜の多彩な品目の生産が行われています。

また、シクラメンやカーネーションなど鉢花の生産も盛んです。

ぐんまの園芸について

群馬の農業生産状況について

群馬県では、東京から100km 圏という有利な立地と、標高10～1,400m に広がる耕地を活かして、多彩な農産物を生産しています。

園芸部門の農業産出額は、群馬県の農業産出額の4割強を占めており、畜産部門とともに群馬県農業の中核を担っています。

園芸部門には「野菜」、「果実」、「花き」があり、各推進計画に基づき、生産量や品質の向上などを目的とした様々な取組を行っています。

表1 部門別農業産出額の推移

(億円)

	区分	平成5年	10年	15年	20年	25年	29年	30年	令和元年	令和2年	令和3年	構成比
耕 園 芸	野菜	1,070	1,019	816	786	936	997	983	912	1,003	891	37.1%
	果実	78	98	96	96	85	96	83	83	80	79	3.3%
	花き	64	74	59	56	53	57	54	51	46	53	2.2%
		1,212	1,191	971	938	1,074	1,150	1,120	1,046	1,129	1,023	42.6%
種	米	310	218	224	191	162	163	166	156	152	110	4.6%
	麦類	90	58	68	21	13	13	12	12	13	15	0.6%
	工芸農作物	137	88	86	132	86	74	82	63	61	71	3.0%
	その他	45	36	26	24	19	26	26	25	27	26	1.1%
畜産	919	881	833	937	947	1,123	1,047	1,058	1,079	1,158	48.2%	
加工農産物	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	0.0%	
計		2,778	2,487	2,210	2,244	2,303	2,550	2,454	2,361	2,462	2,404	100%

※令和3年農業産出額は第1報の数値

(資料：農林水産省 生産農業所得統計)

表2 主な県産園芸農産物の全国順位（令和3年産出荷量）

1位		ほうれんそう	6位				ねぎ	こまつな	さやいんげん						
2位		キャベツ (夏秋キャベツは1位)		きゅうり		えだまめ		うめ	7位		にら		ばら		シクラメン
3位		レタス		なす (夏秋なすは1位)		はくさい		ふぎ	8位		みずな		りんご		おうとう
4位		スイートコーン		やまのいも					9位		トマト				
5位		ごぼう		しゅんぎく		ちんげんさい		キウイフルーツ	10位		だいこん		たまねぎ		ブロッコリー

(資料：農林水産省 作物統計調査)

グッドぐんまの新鮮野菜

群馬の野菜生産状況について

群馬県は、恵まれた自然条件や立地条件を活かし、年間を通して多彩な野菜生産が行われており、全国上位の野菜生産県として、首都圏の重要な野菜供給産地となっています。

令和3年の野菜の産出額は、夏秋期の野菜価格の低迷等もあり、前年を下回る891億円となりましたが、ほうれんそうでは2年連続出荷量日本一を達成しました。

今後も『「野菜王国・ぐんま」推進計画2020』に基づき、関係者が一丸となって、重点8品目と地域推進品目を中心とした生産振興に取り組みます。

群馬の野菜生産の強み

○標高差

標高10～1,400mに耕地が広がり、標高差を利用して様々な野菜が年間を通じて生産されています。利根沼田・吾妻地域の中山間地・高冷地では、夏の冷涼な気候を活かした野菜生産が盛んです。中部・西部・東部地域の平坦地では、露地野菜に加え、冬場の施設栽培も盛んです。

○首都圏に位置する地の利

群馬県は大消費地の100km圏内に位置しており、農産物の主な輸送路である高速道路網（関越・北関東自動車道等）も整備されているため、おいしい野菜を新鮮なうちに食卓に届けることができます。

○秋から春の長い日照時間

恵まれた気象条件を有し、特に10～3月の日照時間は全国2位（令和3年度）です。

※気象庁HP 過去の気象データより集計

図1 農業産出額（野菜）の推移

産出額（億円）



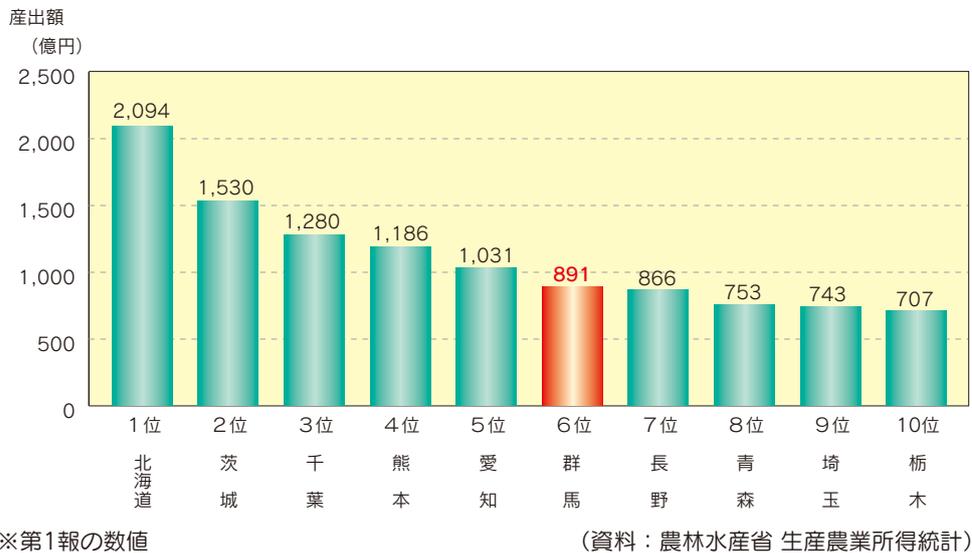
※令和3年農業産出額は第1報の数値

（資料：農林水産省 生産農業所得統計）

全国における位置づけ

◆令和3年の群馬県の野菜産出額は全国第6位となっています（図2）。

図2 令和3年農業産出額（野菜）の全国順位



令和3年の話題

○群馬県産「夏秋キャベツ・夏秋なす・ほうれんそう」出荷量日本一を達成！

群馬県では「野菜王国・ぐんま」をキャッチフレーズとして、キャベツ・なす・ほうれんそうなどを野菜重点8品目に位置付け、生産農家への栽培技術指導や、補助事業による施設機械などの導入を支援しています。

その結果、農林水産省の公表する令和3年産野菜生産出荷統計において、群馬県産「夏秋キャベツ」は52年連続、「夏秋なす」は6年連続、「ほうれんそう」は2年連続で出荷量日本一を達成しました。

今後も野菜重点8品目を中心とした生産振興により、出荷量日本一の維持や品目拡大を目指すとともに、県の公式YouTubeチャンネル「tsulunos」を活用した野菜産地に関する情報発信（右QRコード）など、県産野菜の販売や消費拡大に向けた積極的なPR活動に取り組んでいきます。



ぐんまのキャベツ
産地紹介



ぐんまのなす
産地紹介



ぐんまのほうれんそう
産地紹介



品目別生産状況

表3 品目別出荷量・作付面積・収穫量・農業産出額（令和3年）

	品目	出荷量 (t)		作付面積 (ha)		収穫量 (t)		農業産出額 (億円)
		量	位	量	位	量	位	
重点8品目	きゅうり	48,400 (97)	2位	791 (97)	1位	53,900 (97)	2位	119
	トマト	19,600 (104)	9位	306 (99)	10位	21,100 (103)	9位	52
	なす	23,500 (99)	3位	525 (100)	1位	27,400 (99)	3位	79
	いちご	2,580 (108)	13位	97 (100)	16位	2,740 (107)	15位	27
	キャベツ	251,700 (109)	2位	4,340 (106)	2位	292,000 (114)	1位	183
	ほうれんそう	19,500 (95)	1位	1,990 (101)	1位	21,500 (96)	2位	77
	レタス	51,600 (99)	3位	1,350 (101)	3位	54,500 (99)	3位	50
	ねぎ	14,100 (94)	6位	966 (95)	5位	18,400 (94)	5位	42
	えだまめ	6,420 (103)	2位	1,110 (101)	5位	7,370 (103)	2位	47
	はくさい	22,700 (97)	3位	464 (92)	6位	29,500 (96)	3位	13
	スイートコーン	10,200 (111)	4位	1,180 (101)	4位	12,400 (111)	4位	22
	やまのいも	3,940 (99)	4位	453 (98)	4位	5,120 (100)	5位	21
	ごぼう	6,730 (107)	5位	401 (100)	6位	7,460 (107)	5位	17
	しゅんぎく	1,830 (90)	5位	116 (100)	5位	2,170 (90)	5位	11
	ちんげんさい	1,860 (105)	5位	134 (95)	3位	2,090 (105)	5位	4
	こまつな	5,930 (96)	6位	534 (96)	4位	6,620 (96)	6位	13
	にら	2,420 (86)	7位	155 (95)	5位	2,650 (87)	7位	12
	さやいんげん	802 (109)	7位	173 (99)	6位	1,230 (109)	7位	7
	だいこん	23,200 (105)	10位	781 (98)	11位	32,800 (101)	10位	20
	ブロッコリー	5,420 (94)	10位	615 (95)	10位	6,270 (94)	10位	11
	たまねぎ	7,410 (100)	10位	193 (101)	10位	8,140 (100)	10位	6

※出荷量・作付面積・収穫量は確報、農業産出額は第1報

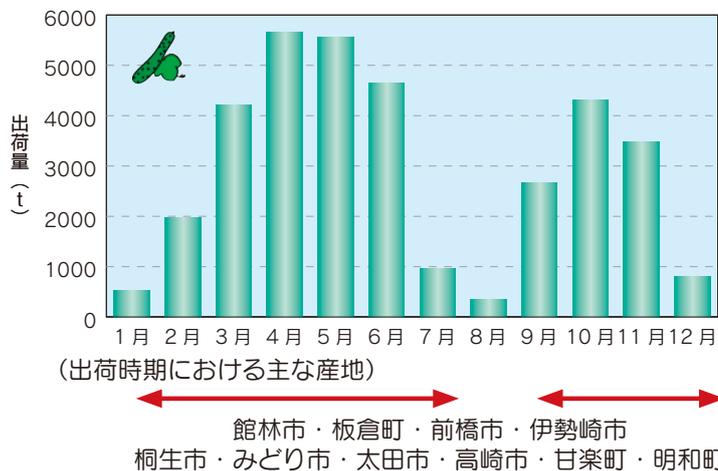
※出荷量・作付面積・収穫量の下段（ ）内は対前年比%、右列は全国順位

（資料：農林水産省 作物統計調査、生産農業所得統計）

県重点8品目について

群馬県では、生産が盛んで基幹的な品目である「きゅうり」「トマト」「なす」「いちご」「キャベツ」「ほうれんそう」「レタス」「ねぎ」の8つを重点品目に位置づけ、戦略的に生産振興を図っています。

きゅうり

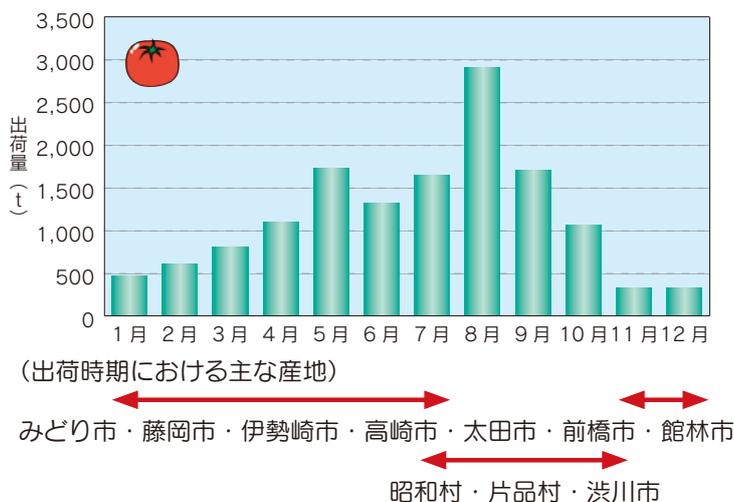


◇ハウスを利用して、促成（1～6月出荷）と抑制（9～11月出荷）の2作型を組み合わせた栽培が行われています。

◇平成19年から始まった県統一規格共計販売により、安定出荷と有利販売が行われています。



トマト

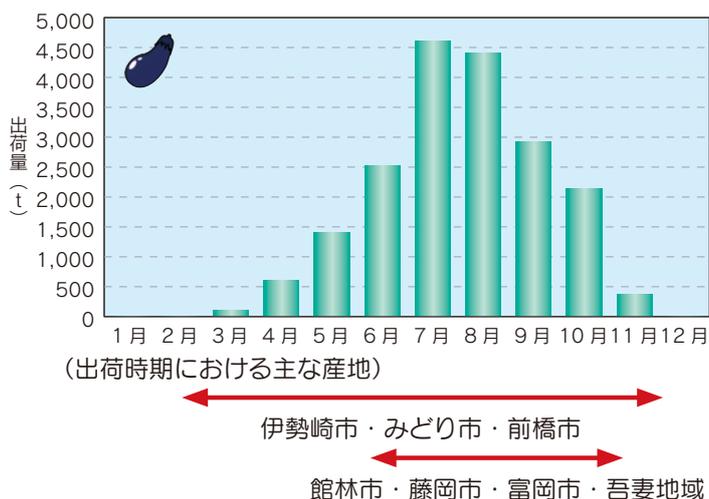


◇平坦地域でのハウス促成栽培（1～6月出荷）と、冷涼な中山間地域での雨よけ栽培（7～10月出荷）が行われています。

◇高糖度のフルーツトマトや加工向けの契約栽培など、特徴のある生産も行われています。



なす

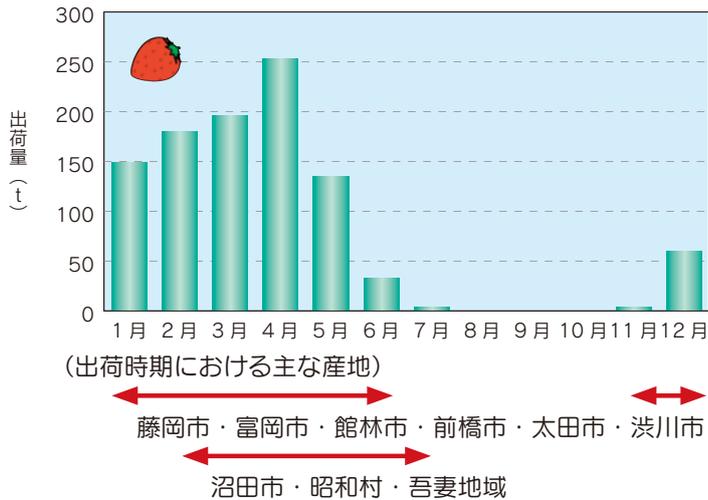


◇無加温ハウスを利用した半促成栽培（3～7月出荷）と、露地栽培（6～11月出荷）により、長期にわたり出荷されています。

◇露地栽培は、新規栽培者が取り組みやすい品目として新たな産地が形成されています。



いちご

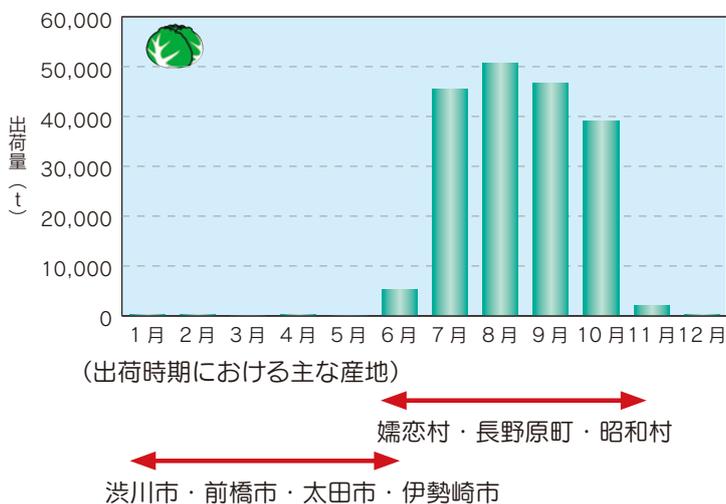


◇平坦地から中山間地まで広く施設栽培が行われ、12月から7月まで出荷されています。

◇県育成促成品種「やよいひめ」をはじめ、業務用需要が高い県育成半促成品種「おぜあかりん」などが栽培されています。



キャベツ

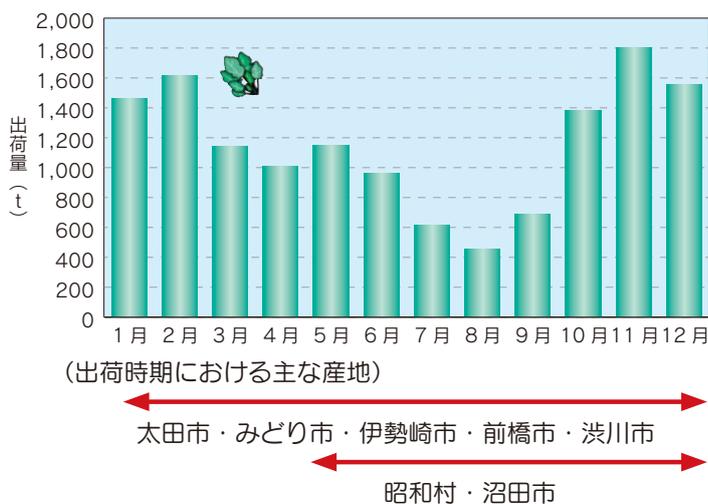


◇高冷地で生産される夏秋キャベツ（7～10月出荷）は、日本一の生産量を誇ります。冷涼な気候を活かした高品質なキャベツが生産されています。

◇冬春キャベツも、生産量は少ないものの、平坦地を中心に、主に業務加工向けに栽培されています。



ほうれんそう



◇秋から冬（10～3月）にかけての出荷量が年間出荷量の約65%を占め、県内の平坦地から中山間地まで広く産地が形成されています。

◇雨よけ施設を活用した周年栽培を行う、雇用に導入した企業的大規模経営体が育成されています。



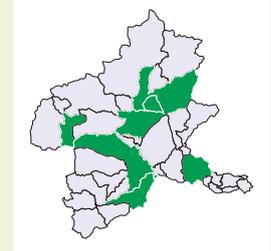
**群馬県産の新鮮野菜が
首都圏の台所を支えています！**

レタス

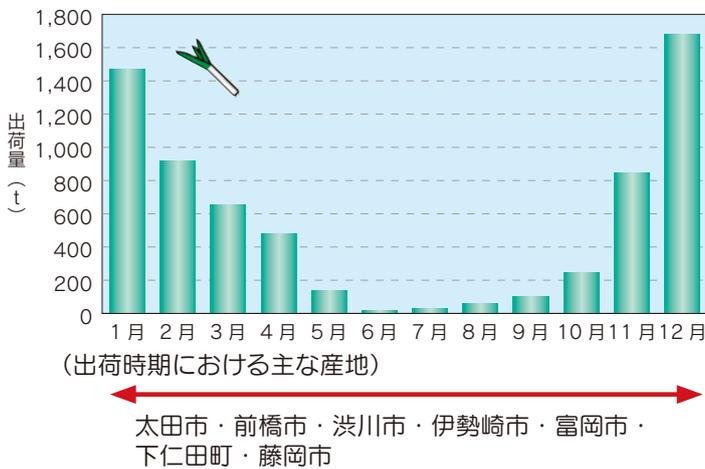


◇北毛の高冷地で生産される夏秋レタス（5～10月出荷）は、年間出荷量の約90%を占めています。

◇栽培管理の機械化により経営の大規模化が図られています。また、平坦地でも、業務加工向けの契約栽培が行われています。



ねぎ



◇秋冬ねぎ（10～3月出荷）が年間出荷量の約85%を占めています。また、西部地域の下仁田ねぎは全国的にも有名です。

◇生産拡大が期待される品目として、各地域で積極的な生産振興が図られています。



地域推進品目について

重点品目以外にも、県内5地域ごとに、地域の特徴を活かして盛んな生産が行われている品目を、地域推進品目として選定し、各地域で積極的に振興しています。（表4）

今後も「『野菜王国・ぐんま』推進計画2020」に基づき、重点品目、地域推進品目、県育成品種を中心に、地域の立地条件や生産環境を活かした特徴ある生産・販売など、戦略的な振興を行うとともに、産地間の連携を強化し、県内野菜の安定供給体制の確立を図ります。

表4 地域推進品目一覧

中部	前橋	ブロッコリー、えだまめ	吾妻	ズッキーニ、スイートコーン、さやいんげん、えだまめ、はくさい	
	渋川	ブロッコリー、ちんげんさい、パプリカ、ズッキーニ	利根沼田	だいこん、えだまめ、ふぎ、うどん、こまつな	
西部	伊勢崎	ブロッコリー、えだまめ、にら、にがうり	東部	太田	すいか、やまといも、えだまめ、こまつな
	高崎	たまねぎ、ちんげんさい、ブロッコリー		桐生	ブロッコリー
	藤岡	たまねぎ、にがうり		館林	はくさい、にがうり
	富岡	たまねぎ、にら			

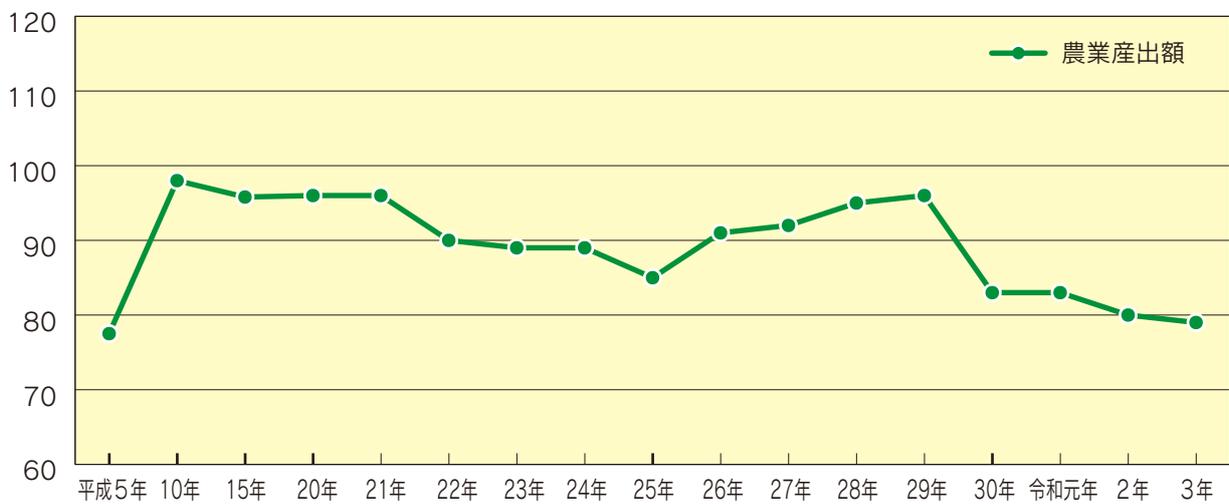
おいしいぐんまの果樹

群馬県では、自然条件を活かし、りんご、ぶどう、日本なし、もも、おうとう、かき、うめ、すもも、キウイフルーツ、ブルーベリー等の落葉果樹が主に栽培されており、令和3年の果樹産出額は79億円となっています（図3）。

「群馬県果樹農業振興計画」に基づき、「おいしいくだもの」づくりを基本に、新産地の育成と既存産地の拡充強化を図り、技術レベルの高い特色ある「ぐんまの活力ある果樹産地」づくりを推進します。

図3 農業産出額（果樹）の推移

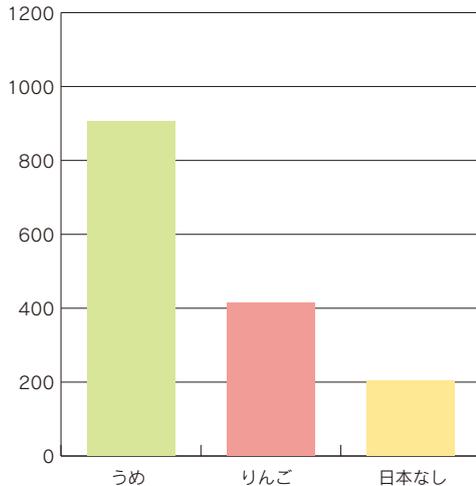
産出額（億円）



（資料：農林水産省 生産農業所得統計）

図4 令和3年品目別栽培面積

栽培面積（ha）



（資料：農林水産省 作物統計調査）

令和3年の話題

○「味覚あふれるぐんまのくだもの園」開設

県内の果樹園の情報を一覧で紹介するウェブサイト「味覚あふれるぐんまのくだもの園」を開設しました。いつでもどこでもスマートフォン等から、手軽に県内果樹園の情報を検索することが可能になりました。



ウェブサイトトップページ



ウェブサイトQRコード

色あざやかな群馬の花

群馬県の主な栽培品目は、キク類、バラ、枝物、シクラメン、鉢物カーネーション、アジサイ、洋ラン類、花壇用苗物などで、令和3年の花き産出額は53億円となっています。また、作付面積は切花類が201ha、鉢物類が40ha、花壇用苗物が42haとなっています（図5、6）。

今後も「群馬県花き振興計画（第7次）」に基づき、冬季の恵まれた日照条件や標高差のある自然条件を活用し、「色あざやかな群馬の花」の生産振興を図ります。

図5 農業産出額・作付（収穫）面積（花き）の推移

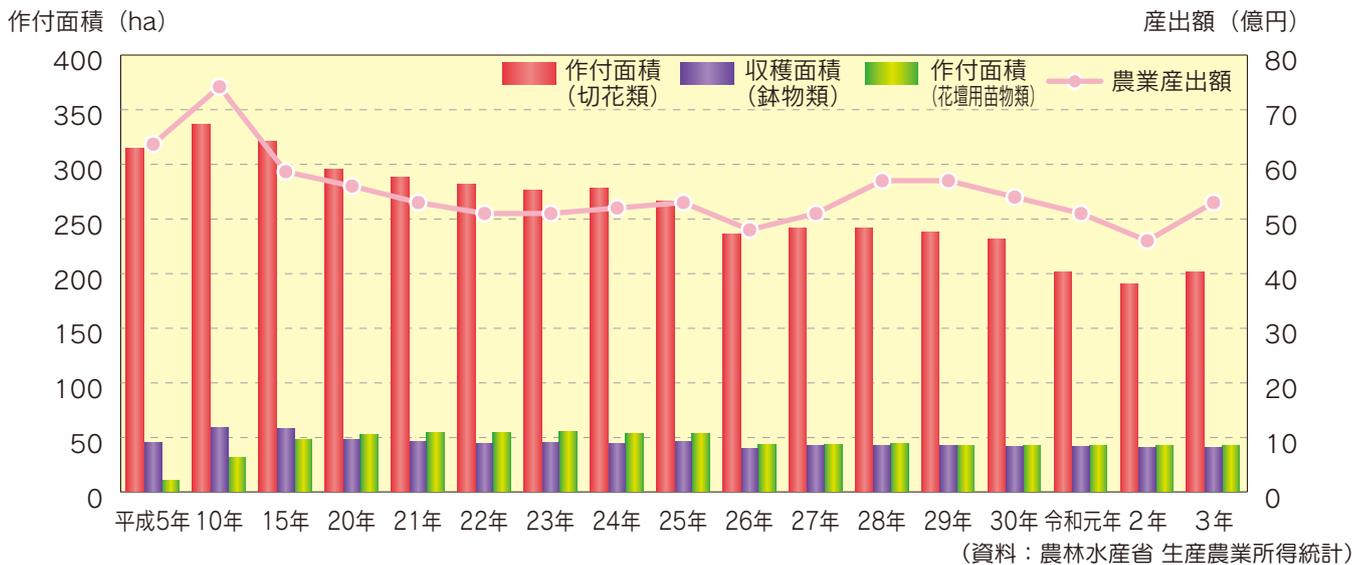
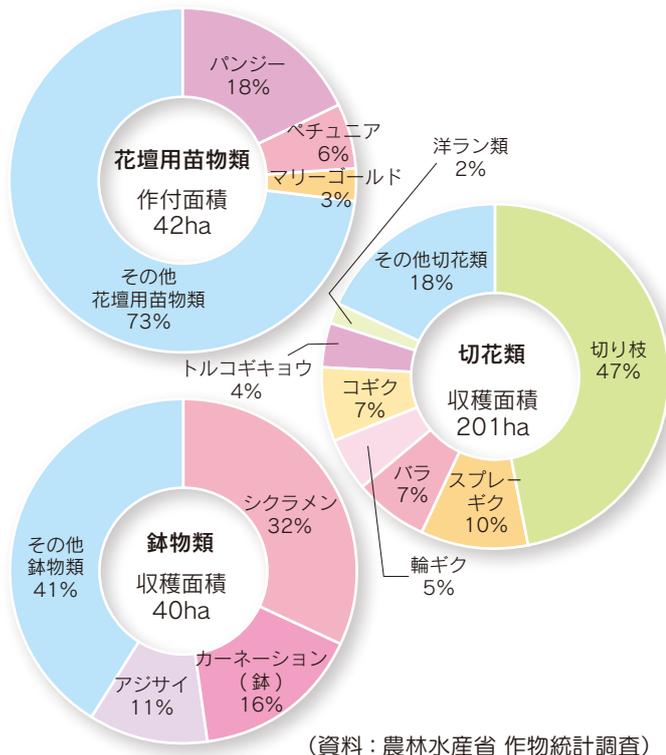


図6 令和3年産品目別作付（収穫）面積



令和3年の話題

○群馬県産花きの魅力をPR！

群馬県では、本県産花きの活用場面を増やすため消費者、実需者、流通業者にその魅力を広く伝える様々な取組を行っています。

令和3年は、需要拡大を目的として、トルコギキョウをメイン花材とした高校生フラワーアレンジメント大会、3回の県産花き展示（バラ、キク類、宿根草類、トルコギキョウ、シクラメン等）、スプレーギクをメイン花材とした親子フラワーアレンジ教室など、県産花きの魅力発信に取り組みました。



高校生フラワーアレンジメント大会



県産花き展示会

群馬県育成品種の紹介

群馬県農業技術センターで開発された品種の一部をご紹介します！

このほかにも、様々な品種が育成され、県内での生産振興が図られています。群馬県生まれのニューフェイスをよろしくお祈りします！

いちご「やよいひめ」

平成17年1月品種登録。果実が大粒でしっかりしていて日持ちが良い、糖度と酸度のバランスが良く食味が優れる、上品な鮮紅色などの特徴があり、他品種の品質が低下する3月（弥生）以降も安定した品質を保てるのもセールスポイントです。

県内の品種別作付シェアは8割に達し、群馬県を代表する品種となっています。

平成20年からは、更なる知名度アップと全国シェア拡大のため、県外への許諾を実施し、全国各地で栽培が行われています。



いちご「おぜあかりん」

平成23年5月品種登録。果実がしっかりしていて日持ちが良い、食味が良い、光沢ある濃い赤色などの特徴があります。中山間地である利根沼田地域で、3月下旬から7月中旬の初夏まで収穫できることが大きな特徴です。県内での栽培面積は利根沼田地域を中心に5haほど。これから、10ha目指して振興を図っていきます。

りんご「紅鶴」

平成28年8月品種登録。きれいな濃赤色で美しい外観と濃厚な味わい、シャキシャキとした食感が特徴の期待の新品種です。既存の県育成品種「あかぎ」と「陽光」の端境期である10月上中旬に収穫期を迎えます。新品種の為、希少な品種となっていますが、これから生産量が増えるように振興を図っていきます。



やまといも「ぐんまとろりん」



平成26年7月品種登録。県内産地で古くから栽培されてきた系統から長年かけて選抜した品種です。「棒」状イモの発生率が高く、皮が剥きやすく調理・加工しやすいことなどから、生産者や消費者から高い評価を得ています。平成26年から、県内産地で本格的な生産・出荷に取り組んでいます。

たらのき「ぐんま春王NT」



平成29年2月品種登録。品質の良い品種「新駒」を親に持ち、そうか病という病害に強い品種です。また、一つ一つの芽が大きく、緑色が鮮やかで、身がしまっている特徴があります。平成23年9月に品種登録された「ぐんま春王」に比べてグがきわめて少ない品種です。

うど「利根白」



平成19年1月品種登録。茎に赤みが少ない白茎系の品種で、これまでの品種に比べ、収量が多いなどの特徴があります。アクが少なく、柔らかく、食味が良いため、サラダにも適しています。

ふき「春いぶき」



平成19年3月品種登録。国内初のフキの交雑品種です。フキノトウは、発生数が大変多く、形が良いなどの特徴があります。フキ（葉柄部分）は、細めですが、空洞が小さく、肉質がやわらかく緻密で、味と香りが良いなどの特徴があります。

ブルーベリー「おおつぶ星」



平成10年10月品種登録。国内で最初に登録されたブルーベリー。収穫期は7月上旬から7月下旬。粒が大きく、果皮がしっかりとっているので日持ちが良く、果汁がたっぷりで濃厚な味わいが特徴です。近年、県内各地でブルーベリーの産地化が進み、市場出荷にも力を入れています。

ブルーベリー「あまつぶ星」



平成11年4月品種登録。収穫期は7月中旬から8月上旬。「おおつぶ星」と並び、県内での生産が盛んです。粒が大きく、甘口で食べやすいのが特徴です。「あまつぶ星」も市場出荷され、一層の生産拡大が期待されます。その他、直売向けの「はやば星」も栽培されています。

うめ「群馬U6号」

令和2年11月19日品種登録。収穫期は青梅の場合6月上旬で、梅干し加工用の場合は6月中旬です。本県の主力品種「白加賀」の生産を安定化させる受粉樹として期待されます。また、「群馬U6号」自体も自家結実性があり豊産性です。本品種は「ゆみまる」という商標名で登録されました。今後商標名を活用して、ブランド力の向上を図ります。



※本品種は最初「ひなた丸（仮称）」として出願されていた品種です。

コギク「小夏の風」



平成22年8月品種登録。透明感のある白色品種で、花色、花形等が優れています。県内の平坦地～標高300m地域であれば、開花調節しなくても、お盆向けに出荷できます。

コギク「小夏の月」



平成23年3月品種登録。鮮やかな黄色の品種で、花色、花形等が優れています。「小夏の風」同様、県内の平坦地～標高300m地域であれば、開花調節しなくても、お盆向けに出荷できます。

コギク「小夏の星」



平成27年3月品種登録。鮮やかな黄色の品種で、花色、花形等が優れています。県内の平坦地での開花期は7月上旬です。「小夏の月」に比べて、3週間程度早く出荷できます。

コギク「小夏の恋」



令和2年3月品種登録。明るい赤紫色で、スリムな草姿が特徴です。「小夏の風」等と同様、県内の平坦地～300m地域であれば、開花調節しなくても、お盆向けに出荷できます。

アジサイ「スプリングエンジェルシリーズ」



平成19年10月品種登録。東南アジア原産の常緑性野生種と鉢物用西洋アジサイを交配し育成しました。花の流通の少ない厳寒期（1月）から出荷できます。豪華な大輪で、1番目の花が終わったあとに、2回目～3回目の花を楽しむことができます。

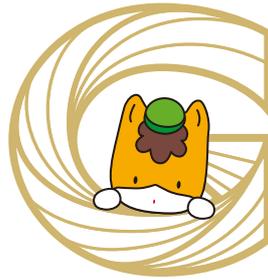
更なるレベルアップを目指して

県内の花き・果樹・野菜・いちご生産者で組織する団体「群馬県園芸協会」では、切り花・鉢花・りんご・日本なし・ぶどう・いちご等の品目の生産の安定や品質の向上、消費拡大を目的として定期的に県庁等で品評会を開催しています。

県内の生産者が生産した選りすぐりの品物を観覧、購入することができますので、開催の際はぜひ足をお運びください。

詳しくは、群馬県園芸協会（電話027-220-2297）まで





**GUNMA
QUALITY**



お問い合わせ先

群馬県農政部蚕糸園芸課

電話：027-226-3124 FAX：027-243-7202

発行：令和5年2月